

# 令和5年度 自己点検・評価報告書

2024年(令和6年)3月27日  
学校法人 葵学園  
埼玉医療福祉専門学校

平成19年12月26日に施行された学校教育法第42条により、専修学校・各種学校においては「自己評価の実施と評価結果の公表が義務化」され「学校関係者評価の実施と評価結果の公表が努力義務化」された。それに伴い、本校でも自己点検評価の実施と学内での評価内容閲覧を実施していた。平成25年度からは『職業実践専門課程』への申請を機会に、より教育の質を高め、社会から信頼される学校となるため、文部科学省が作成した『専修学校における学校評価ガイドライン』に準じた自己点検評価項目への見直しと『学校関係者評価』の実施体制を整え、評価結果を本校ホームページ上で公開している。今後も客観的視点での自己点検評価を継続して学校運営の改善に努めていきたい。

## 1、学校の理念・教育目標

### ○教育理念

人間・生命の尊厳の理解に基づき、障害を抱えた人々の生活と人生の質の向上に貢献する理学療法の実践者を育成する。また、真摯に学び、理学療法を通じて生涯にわたり、人々と社会に貢献する態度を養成する。

### ○教育目的

人間・生命の尊厳の理解に基づき、障害を抱えた人々の生活と人生の質の向上に貢献する理学療法の実践者を育成する。また、真摯に学び、理学療法を通じて生涯にわたり、人々と社会に貢献する態度を養成する。

### ○教育目標

- ① 対話を重視し、高い倫理観と豊かな人間性を育む。
- ② 社会人基礎力の修得を促進し、公に貢献する人材を育む。
- ③ 都度内省し、自己の面的成長を育む。
- ④ 変化する社会のニーズと環境に適応する協調性を持った人材を育成する。
- ⑤ 共同学習を通じ、専門職における自覚を養成する。

## 2、本年度の重点目標と達成計画

目標	達成計画	手段
1.教育の質保証の確立 (学習成果の維持・向上)	○国家試験合格率100% ○就職希望者の就職率100%	○専門科目の運営方法の見直し ○個性別に応じた学習支援の教化
2.教員育成と教育力向上の支援	○成績不振や学校生活課題による退学者5%以内	○学内研修会への参加 ○学外研修会への参加 ○臨床実習体制の整備
3.教育環境(施設設備)と安全の保証	○奨学金規定に準じた確実な運用	○学生の負担軽減に関する事業(奨学金)の運用(給付型、貸与型、企業奨学金等) ○適切なコロナ対策
4.学生募集の定員充足	○資料請求者数2,000件 ○見学会参加者数300名 ○出願者数120名(昼70夜50)	○年間計画に沿った広報活動 ○各種活動の効果測定

### 3、評価項目の達成及び取組状況

適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

#### (1)教育理念・目標

NO	評価項目	評価
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
1-2	学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか	4
1-3	社会情勢や業界の変化等をふまえた学校の将来構想を抱いているか	4
1-4	学校の理念・目的・育成人材像は、特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3

現状認識	地域の皆様に貢献できる医療人を育成することが最大の目標。教育理念・目的・育成人材像は明確に示しており、情意教育として、職業人に必要な基本的態度や行動、社会人基礎力の育成にも力を入れ、特色ある職業教育が行われている。	
------	---	--

課題と今後の改善方法	社会情勢や業界の変化等をふまえニーズに応える教育に取り組んでいく。	
------------	-----------------------------------	--

#### (2)学校運営

NO	評価項目	評価
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
2-3	運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
2-4	教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	3
2-5	人事、給与に関する規定等は整備されているか	3
2-6	業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
2-7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
2-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

現状認識	学校運営に関しては、運営方針に基づき、円滑な運営がなされている。質の高い学校運営の実現とより良い学校ブランドを構築するために、卒業生アンケートを実施している。	
------	---	--

課題と今後の改善方法	情報システム化等による業務の効率化を現状よりさらに図っていきたい。	
------------	-----------------------------------	--

### (3) 教育活動

NO	評価項目	評価
3-1	目標や育成人材像を示した文書があり、明確化されているか	4
3-2	カリキュラムの編成方針と教育理念・教育目標とがっちしているか	4
3-3	専門教育の配分と内容が適正であるか	3
3-4	実践的な職業教育が体系的にされているか	4
3-5	問題点を収集し、改善を図るための活動がされているか	3
3-6	専門分野において授業内容に沿った教員の確保がされているか	3
3-7	教育の目標に応じた成績評価基準が策定されているか	3
3-8	合格や免許の内容や努力を重視している事を明示した書類があるか	3
3-9	資格試験の指導体制はあるか	4
3-10	合格実績・合格率 合格実績・合格率を示す書類はあるか	4

現状認識	教育活動は理念等に沿い適切に運用されている。
------	------------------------

課題と今後の改善方法	姉妹校葵メディカルアカデミーとも連携し、より充実した教育活動を目指していく。
------------	--

### (4) 学修成果

NO	評価項目	評価
4-1	就職率の向上が図られているか	4
4-2	資格取得率の向上が図られているか	4
4-3	退学率の低減が図られているか	3
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3

現状認識	就職率や資格取得率は良好である。 今年度、国家資格取得率は昼間部96.7%、夜間部共に92.9%の結果を修めた。
------	---

課題と今後の改善方法	就職希望者の就職率100%と国家試験合格率100%を目指していく。成績不良者への補習等を実施し、学力向上に努めていく。また、面談を定期的実施し、退学率低減を図る。
------------	---

## (5) 学生支援

NO	評価項目	評価
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	2
5-6	学生の生活環境へ支援は行われているか	3
5-7	保護者と適切に連携しているか	3
5-8	卒業生への支援体制はあるか	3
5-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
5-10	高校との連携によるキャリア教育職業取組が行われているか	3

現状認識	就職説明会の開催や、班単位での担任制、授業料減免制度、サークル活動支援、保護者会の開催等、学生支援体制を整備しほぼ適切に運用している。
------	---

課題と今後の改善方法	卒業生への支援体制に関しては、勉強会の開催等、今後充実させていきたい。
------------	-------------------------------------

## (6) 教育環境

NO	評価項目	評価
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整されているか	4
6-2	学内外の実習施設、研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
6-3	防災に対する体制は整備されているか	4

現状認識	校舎内の定期清掃を実施し、快適な教育環境を維持している。
------	------------------------------

課題と今後の改善方法	校舎内の各設備の不具合を調査し、計画的に修繕、交換等を進めていく。 外部の専門業者に依頼し定期的な環境検査を行う。 危機管理に関する教育・訓練、有事における対応についての認識を高めていく。
------------	--

## (7) 学生の受入れ募集

NO	評価項目	評価
7-1	学生募集活動は適正に行われているか	3
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確伝えられるか	3
7-3	学納金は妥当なものとしているか	4

現状認識	少子化、大学全入時代の中、専門学校希望者は年々減少している。オープンキャンパスでは体験授業を魅力あるものにするや他校との違いをアピールし、進学相談会にも積極的に参加している。学納金は他校と比較しても経済的負担を少なくしている。
------	---

課題と今後の改善方法	今年度は入学定員を充足できなかった。今後はさらに厳しい状況のため、学生募集には全教職員が計画的にあたることを意識して取り組んでいく。入学選考については、関係法令及び倫理規程等に従い定員を遵守し、適切な時期に適切な方法で募集をし、高校生と社会人に配慮した入試制度を実施する。
------------	--

## (8) 財務

NO	評価項目	評価
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているとするか	4
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとしているか	3
8-3	財務について会計監査が適正行われるか	4
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	3

現状認識	財務基盤は安定しており健全な財務状況を維持している。また、予算管理や監査も適正に処理されている。
------	--

課題と今後の改善方法	財務基盤を安定化させるため、経費削減に努める。関係機関や校内のチェック機能を充実させていく。
------------	--

## (9) 法令等の遵守

NO	評価項目	評価
9-1	法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3
9-2	個人情報に対し、その保護のため対策がとられているか	3
9-3	自己評価の実施と問題点改善を行っているか	3
9-4	自己評価結果を公開しているか	3

現状認識	関係法令を遵守した適正な学校運営がされており、学校評価については、自己点検自己評価及び学校関係者評価を実施しその結果を公表している。
------	--

課題と今後の改善方法	コンプライアンス及び個人情報の取扱いについては、全教職員研修を検討する。個人情報の取扱いについては、セキュリティの徹底と、漏洩時の緊急対応などについて検討していく。
------------	--